

氏名	西原 賢	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	電気運動生理学、物理療法学				
学位	博士（医学）				
学歴	1986年早稲田大学大学院理工学研究科博士前期課程修了、1995年社会医学技術学院理学療法学科卒業、2001年北里大学大学院 医療系研究科博士後期課程修了				
経歴	2001年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2011年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2015年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会、専門リハビリテーション研究会、理学療法科学学会、日本看護学教育学会、日本運動療法学会、日本超音波骨軟組織学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者(発表者は○印)	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	科学研究費補助金: 基盤研究(C) (西原賢)	骨格筋と腹部超音波画像による異所性脂肪の蓄積要因の解明		研究代表者	2025.4~2027.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	物理療法学	○	8	物理療法の各療法による物理的刺激手段が、生体に及ぼす影響について講義した。		
2	記録データ解析	○	8	運動や感覚などを記録したデータを基にして適切な解析方法を立案させ、図や表にまとめられるように支援した。		
3	理学療法学研究法	○	4	理学療法の専門領域で学んだ知識を基盤として理学療法学研究の必要性を講義するとともに科学的思考が深められるように努めた。		
4	リハビリテーション教育学1		1	試験問題の作成、評価法の検討について講義し、実際に問題作成の練習体験を実施した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	基礎運動療法学演習		2	運動療法を計画し実施するために必要な基礎理論と原理の一部として筋力・筋持久力の維持と増強について実技を交えた講義を実施した。		
2	ヒューマンケア論		15	ヒューマンケアを考えていく上で、その概念に包含される重要なテーマとして、ヒューマンケアの概念が登場した社会的背景と制度的背景等についてゲストスピーカーを招聘して適切に伝授ができるように努めた。		

3	運動解析学特論		5	博士前期課程科目として、運動制御過程のモデルから運動のメカニズムについての図解し、運動がどのようにコントロールされるかを説明した。内容が研究へのヒントになるよう努めた。	
4	理学療法症候障害論演習		4	博士後期課程の科目として、中枢レベルからの運動指令が身体の動作に及ぶまでの仕組みと電子機器との類似点や相違点について開設した。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	物理療法学実習	○	19	物理療法学で学んだ各療法の理論を基に、実習を通じた基本的手技や実施方法の習得を目指した。	
2	身体機能作業療法学実習		2	作業療法における物理療法の刺激手段が、生体に及ぼす影響について講義した。	
3	ヒューマンケア体験実習		45	「ヒューマンケア論」で学んだことを、保健・医療・福祉の実践現場で実際に体験し、援助を必要とする人々やグループメンバーなどと直接的に関わることによって、援助職者間の「連携と統合」における実践上の基盤をつくれるように努めた。	
4	日常生活指導実習		21	日常生活活動について各疾患別のまとめのグループ発表に参加してアドバイスをした。	
5	運動解析学		10	運動計測機器や検出のセンサーの仕組みについて解説し、実際の運動を計測しながらデータを記録して図にまとめられるように解説した。	
6	理学療法症候障害論		2	博士後期課程科目として、神経・筋に対する筋活動と評価方法や中枢神経からの運動制御過程について解説した。	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	博士論文		2025.4～2026.3	主指導（指導教員）1名	副指導（指導補助教員）名
(5) その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし				
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	臨床実習受入対象講習会		埼玉県立大学理学療法学科	超音波画像診断装置を用いた 筋、腱、靱帯、軟骨等の観測と運動時の組織移動の確認	2025.8,20
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称			委員等の名称	任期
1	東京都健康長寿医療センターの協力による事業			お達者検診	2025.4～2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称			内容	年月
1	該当なし				
(4) その他					
	項目		相手方等	内容	期間
1	該当なし				
5. 学内運営					
	項目			内容	期間
1	該当なし				
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）					
	受賞名			主催	受賞年月
1	該当なし				
7. 特許の取得					
	特許名			特許番号	登録年月
1	該当なし				